

ふかうら

議会だより

目次 CONTENTS

第110回定例会	
補正予算議案……………	2
条例に関する議案……………	4
その他の議案ほか……………	5
一般質問	
今 勝吉議員……………	7
大高恒藏議員……………	11
岩根 環議員……………	16
堀内榮治議員……………	18
新人議員の紹介……………	19
議会活動……………	19

お日様が真っ白な雪に反射してまぶしいほどの雪遊び日和。子供たちは大はしゃぎ！雪山を滑る子、ソリに雪を詰めて遊ぶ子、みんな自由に雪遊びを楽しみました！
(みよし保育園)

第64号

令和3年2月12日発行

まぶしいほどの銀世界！
それ以上にまぶしい子供たちの笑顔！

深浦町議会第110回定例会

ウェスパ椿山駅周辺施設整備

設計監理業務・物産館改修工事費など計上



▲物産館「コロボックル」



▲町長提案理由の説明

一般会計補正予算 約464万円減額し 総額 86億8345万円

第110回定例会は、12月4日から8日までの5日間の会期で開かれました。
本定例会では、令和2年度補正予算関係議案7件、条例関係議案7件、工事の請負契約の一部変更の件2件、陳情1件、発議1件、以上18件が提出され、審議の結果、すべて原案どおり可決されました。
一般質問は、4人の議員が町政全般にわたり論戦が繰り広げられました。

- 定例会の日程
- ・12月4日(金) 一般質問
- 全議案一括上程
- 提案理由の説明
- ・12月5日(土)・6日(日) 休会
- ・12月7日(月) 一般質問
- (今勝吉 大高恒藏 岩根環 堀内榮治)
- ・12月8日(火) 議案審議・採決

補正予算議案

◆議案第1号

令和2年度深浦町一般会計補正予算
歳入歳出をそれぞれ464万3千円減額し、歳入歳出予算の総額を8億8345万1千円とした。

【歳入の主なもの】

- 国庫支出金
- 補装具費負担金、地域生活支援事業費補助金等 1665万円

●県支出金

- 補装具費負担金、社会保障・税番号制度システム整備費補助金等 3723万円

●繰入金

- 合併振興基金繰入金 2220万円
- 財政調整基金繰入金 3394万円
- 公共施設等総合管理基金繰入金 450万円

●諸収入

- ふるさと市町村圏基金出資金返還金 2810万円
- 後期高齢者医療療養給付費負担金返還金等 914万円

●町債

- 観光施設整備事業債 7300万円
- 定住促進住宅整備事業債 150万円

【歳出の主なもの】

- 総務費
- 財産管理費 601万円
- 光ファイバー設備管理費 310万円
- 事務改革推進費 155万円
- 民生費
- 介護保険特別会計繰出金 116万円
- 生きいき健康福祉祭開催事業費 114万円
- 放課後児童健全育成事業費 140万円
- 衛生費
- 健康診査費 600万円

- 国保事業特別会計直診勘定繰入金 504万円
- 農林水産業費
- 町有牧場管理事業費 87万円
- 商工費
- 海の駅ふかつら施設管理費 79万円
- ウエスパ椿山施設管理費 7648万円
- ウエスパ椿山駅周辺施設整備事業費 5781万円
- 観光産業振興費 500万円
- 土木費
- 道路維持費 473万円
- 定住促進住宅整備事業費 203万円
- 消防費
- 空家等対策費 90万円
- 教育費
- 太宰の宿ふかつら文学館管理費 146万円
- 社会体育費 258万円
- 予備費 722万円

◆議案第2号から第6号まで 令和2年度深浦町特別会計・水道事業会計補正予算

会計区分	補正額	総額
議案第2号 国民健康保険(事業勘定)	610万円	13億1176万円
(直診勘定)	906万円	2億3511万円
議案第3号 後期高齢者医療	△340万円	1億4439万円
議案第4号 介護保険	204万円	15億3363万円
議案第5号 訪問看護ステーション	65万円	2201万円
議案第6号 下水道	93万円	1億8587万円
合計	1538万円	34億3277万円

会計区分	補正予定額	計	
企業会計	収益的収入	3000万円	4億6575万円
	資本的収入	190万円	4508万円
	資本的支出	387万円	2億1879万円



▲森林管理道築棒沢宮崎線開設工事

◆議案第15号
 工事の請負契約の一部変更の件
 町林第1号 森林管理道築棒沢宮崎線開設工事
 変更前の請負代金 8943万円
 変更後の請負代金 9220万2千円
 契約の相手方 深浦町大字柳田字宮崎63番地
 株式会社 藤田建設工業所
 代表取締役 藤田 亮一



▲町道北金ヶ沢28号線道路改良2期工事

◆議案第16号
 工事の請負契約の一部変更の件
 道整第1号 町道北金ヶ沢28号線道路改良2期工事
 変更前の請負代金 4774万円
 変更後の請負代金 4989万6千円
 契約の相手方 深浦町大字北金ヶ沢字塩見形2番地10
 株式会社 脇川建設工業所
 代表取締役 脇川 勇生

その他の議案

陳情

発議

◆陳情第1号
 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択の陳情

◆発議第1号
 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書

補聴器の更なる普及で高齢になっても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができ、うつ病や認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考え、特に低所得の高齢者に対する配慮として、加齢性難聴の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書を国に対して提出していただきたい。

提出者：全日本年金者組合 青森県本部
 執行委員長 千代谷 邦弘

提出者：小野信吾議員
 賛成者：工藤博利議員 齊藤 登議員 今 勝吉議員
 提出先：衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣



◆第110回定例会 採決状況一覧 ○賛成 ×反対 議長（小野文之）は採決に加わらない。

議案等	大川清光	岩谷司	岩根環	今勝吉	齊藤登	大高恒藏	小野信吾	堀内榮治	藤田一則	工藤博利	亀川肇	小野文之	議決結果 (賛成：反対)
議案第1号～第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (11:0)
陳情第1号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	採択 (10:1)
発議第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (11:0)

条例に関する議案

◆議案第8号
 承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正
 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正
 【改正の内容】
 ①地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律から引用する条文の改正
 ②適用期限の元号を「平成33年」から「令和3年」に修正
 ③法令名の変更による改正



▲旧木材加工センター

◆議案第10号
 公の施設の使用料に関する条例の一部改正
 深浦町木材加工センターが、行政財産の用途廃止となったことに伴い、所要の改正
 【改正の内容】
 ①別表から木材加工センターの使用料を削除

行政財産
 「行政財産」は、行政上の特定の目的のために所有している財産のことで、その目的に応じて公用又は公共用に分類され、各施設所管課がそれぞれ管理します。原則「貸付・交換・売却・譲渡・出資の目的とすること、信託すること、私権を設定すること」ができません。
 ①公用財産
 町が事務を行うために直接使用する財産のことで、
 (例) 役場、支所など
 ②公共用財産
 一般的に住民が利用する財産のことで、
 (例) 学校、公民館、道路など
 普通財産
 「普通財産」は、行政財産以外の公有財産のことで、行政財産と異なり、行政上の特定の目的がなく所有している財産のことで、
 「貸付・交換・売却・譲渡・出資の目的とすること、信託すること、私権を設定すること」ができます。

◆議案第11号
 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
 個人番号カードを利用したコンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を開始することに伴い、所要の改正
 【改正の内容】
 ①多機能端末機による印鑑証明書の交付の規定を追加
 ②第17項見出し中「制限」を「交付」に変更

◆議案第12号
 保育の必要性の認定に関する条例の一部改正
 幼児教育・保育の無償化による子ども・子育て支援法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正
 【改正の内容】
 ①保育の必要性の事由について、法令から引用している部分を具体的に明記
 ②保育必要量を設定
 ③用語の整理

◆議案第13号
 後期高齢者医療に関する条例の一部改正
 租税等別措置法及び地方税法の一部改正に伴い、所要の改正
 【改正の内容】
 ①保険料を徴収すべき被保険者の追加
 ②延滞金の割合に講ずる特例措置
 ③用語の整理

◆議案第14号
 介護保険条例の一部改正
 租税等別措置法及び地方税法の一部改正に伴い、所要の改正。
 【改正の内容】
 ①用語の整理

町政をたただす



こん かつよし
今 勝吉 議員

問 ウェスパ椿山閉鎖後について

答 物産館(コロボックル)は、情報発信の拠点施設として活用。その他の施設の活用方法は協議中

問 今議員
① ウェスパ椿山の閉鎖に伴う今後の施設運営管理と職員・従業員の再就職の状況について伺う。
② ウェスパ椿山閉鎖における今後の町全体への受け入れ体制の整備をはじめとした具体的な誘客促進策と観光振興をめざした取組について伺う。

答 町長
① 物産館(コロボックル)は、JRウェスパ椿山駅と併設しており、リゾート列車も停車することなどから、物販販売も兼ねた町の情報発信の拠点施設として活用を考えている。その他の施設については、経営課題や地域課題など、中長期的なサポートを行う会社を通じて、施設の活用方法について協議中です。
ウェスパ椿山施設の再生には、財政負担の軽減、抑制の観点からも民間の資金を活用した整備が望ましいのではと考えている。
ウェスパ椿山で働いていた

従業員の状態については、11月末の状況で部署異動(バス事業部への異動)が3人、退職意向が3人、内定者が18人、未定者が17人です。町では、独自の支援制度も策定し、町内事業者が採用した場合、到来年度までの期間1人当たり、ひと月最大8万5千円を助成することとしている。また、ハローワーク等と連携し、求人情報の提供をしていきたい。
② 当町における観光資源は、北前船が残した「歴史と文化」、深浦マグロやふかうら雪人参に代表される「地域食

材」のほか、特に優位なものとして「世界自然遺産白神山」と「十二湖」がある。今後の観光振興の重点施策として、ハード・ソフトの両面から個人旅行に対応した十二湖の再開発を計画しており、十湖で活動するガイドの会や、十湖の観光情報発信に努め誘客促進を図っていく。



▲物産館(コロボックル)

第110回定例会(12月議会)



一般質問

第110回定例会では、12月7日に一般質問が行われ、4人の議員が町政全般について質問しました。掲載は質問順で、質問と答弁は、広報編集委員会が要約したものです。

1 今 勝吉議員 (7ページ)

- ① ウェスパ椿山閉鎖後について
- ② 新型コロナウイルス感染拡大の対応について
- ③ 松くい虫・ナラ枯れについて
- ④ 新たな生活様式に対応した地域交通体系について
- ⑤ 観光スポット大岩エリアについて
- ⑥ 新型コロナウイルスによる財政悪化の対応策について
- ⑦ 来年度予算の方向性について

2 大 高 恒 蔵議員 (11ページ)

- ① 町長の公約について
- ② COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の今後の取組について
- ③ 地球温暖化対策の取組について
- ④ 木造高校深浦校舎の来年度募集停止について
- ⑤ 成年後見制度の現状と取組について
- ⑥ 子供の食物アレルギー対策について
- ⑦ 株式会社ふかうら開発について

3 岩 根 環議員 (16ページ)

- ① 子供たちの遊び場について
- ② ふかうらイルミネーション2020について
- ③ 木造高校深浦校舎募集停止について

4 堀 内 榮 治議員 (18ページ)

- ① 国道101号岩崎地区の電柱等移設について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、執行機関に行財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを問ひ、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

町政をたただす

町政をたぐす



▲松くい虫被害木

問 今議員
松くい虫被害発生は一部地域で抑えられつつも、ナラ枯れ被害は急拡大している状況である。松くい虫とナラ枯れの被害は来年も危惧されるが、町は被害防止対策にどのような取り組みでいくのか伺う。

答 町長
被害対策については、県が主導となり、伐倒・くん蒸処理などの対策に取り組んでいる。町としても、被害木の調査並びにパトロールの強化を図るとともに、林地台帳を基に被害地の情報提供を確実にを行うなど、関係機関と連携を図りながら対策に取り組んでいく。



▲松くい虫(マツノマダラカミキリ) (写真提供 林業研究所)



▲ナラ枯れした樹木

問 今議員
新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、地域の移動ニーズに対応して導入するコミュニティバスの交通体系をどのように考えているのか伺う。

答 町長
高齢化率が県内トップクラスにある当町においては、日常生活における足の確保が必要不可欠であることから、既存の岩崎方面を運行していた診療所バス、ゆとりバスを統合する形で運行することとしており、地域住民の様々な需要に応えることができる「日常生活の足」として運行することを想定している。

今回のコミュニティバスは、これまでより運行日と運行回数を増やし、新型コロナウイルス感染症に対する予防対策も充実させます。



▲大間越から崎の町を運行しているコミュニティバス



▲深浦本町を運行しているコミュニティバス ※崎の町は対象外

新たな生活様式に対応した地域交通体系について



問 町長
①感染者発生後の対応は県の役割で、感染者の入院等の調整や職場・家族の相談対応、濃厚接触者の選定と検査の指示等を行っている。当町の感染者は五所川原保健所の指示の下、入院することになり、感染拡大防止対策が講じられた。県から町への応援要請・支持はないが、町民の不安が膨らむおそれがあるので、関係各所へ対応を指示し、誹謗中傷することがないよう注意喚起をした。

②今回のように感染者が当町の住民であつても、町は県が公表する内容のみの情報しか把握できない。今回は、感染者本人より早期の段階で連絡をいただいたことで町も把握することができたが、全ての患者発生を町が把握できる状況にはない。これは、感染者本人に対する誹謗・中傷を避けるための県の方針で、そのため、議会に対しても県が公開する情報以外は公開できないので、御理解をいただきたい。

③当町における地域6次産業の取組は、新型コロナウイルスの影響により、食品市場のトレンドや食スタイルに大きな変化が見られていることから、需要動向を見極め、新たな展開を模索するとともに、民間事業者の新たな取組や提案を受けながら、コロナ禍における消費ニーズの把握に努め、適切な支援をしていきたい。

④町では、新型コロナウイルス感染症が町民に重大な影響を及ぼすおそれがあるとして、緊急の会議を含め十数回の対策本部会議を開催し、町民への経済的支援をはじめ、商工、観光、農林水産事業者への支援などにより、一定の効果があつたものと考えている。

現在も、第3波と呼ばれる感染拡大傾向にあつて、まだまだ終息が見えない状況にあることから、更なる対策強化に努めていく。

新型コロナウイルス感染拡大の対応について

問 今議員
①新型コロナウイルスのクラスター(集団感染)に伴い、当町でも1人の感染が確認されたが、保健所や医療関係者はどう対応してくれたのか。また、町はどこまで対応したのか。

②陽性者1人で済んだが、濃厚接触者が陽性となった場合の町の体制はどうであったのか。また、議会への情報公開をどう考えていたのか。

③新型コロナウイルスの影響で落ち込む地域経済を活性化するため、新たな6次産業化への投資で、付加価値を生み出す消費の拡大を展開するべきと思うが、町の考えを伺う。

④今までの自らの対応を検証し教訓を今後に生かすべきと思うが、町長の考えを伺う。

①感染者発生後の対応は県の役割で、感染者の入院等の調整や職場・家族の相談対応、濃厚接触者の選定と検査の指示等を行っている。当町の感染者は五所川原保健所の指示の下、入院することになり、感染拡大防止対策が講じられた。県から町への応援要請・支持はないが、町民の不安が膨らむおそれがあるので、関係各所へ対応を指示し、誹謗中傷することがないよう注意喚起をした。

②今回のように感染者が当町の住民であつても、町は県が公表する内容のみの情報しか把握できない。今回は、感染者本人より早期の段階で連絡をいただいたことで町も把握することができたが、全ての患者発生を町が把握できる状況にはない。これは、感染者本人に対する誹謗・中傷を避けるための県の方針で、そのため、議会に対しても県が公開する情報以外は公開できないので、御理解をいただきたい。

③当町における地域6次産業の取組は、新型コロナウイルスの影響により、食品市場のトレンドや食スタイルに大きな変化が見られていることから、需要動向を見極め、新たな展開を模索するとともに、民間事業者の新たな取組や提案を受けながら、コロナ禍における消費ニーズの把握に努め、適切な支援をしていきたい。

④町では、新型コロナウイルス感染症が町民に重大な影響を及ぼすおそれがあるとして、緊急の会議を含め十数回の対策本部会議を開催し、町民への経済的支援をはじめ、商工、観光、農林水産事業者への支援などにより、一定の効果があつたものと考えている。

現在も、第3波と呼ばれる感染拡大傾向にあつて、まだまだ終息が見えない状況にあることから、更なる対策強化に努めていく。

町政をたどす



おおたか つねぞう
大高 恒藏 議員

問 町長の公約について

答 高収益・省力化の農業、育てる漁業の推進、森林資源の有効活用、十二湖を頂点に観光を広くPR、健康寿命延伸は検診の受診勧奨及び介護・認知症予防が重要

問 町長
当町の基幹産業である農林水産業のうち、農業については、当町の環境に合致した高付加価値のある作物栽培に取り組みとともに、高収益・省力化の農業に取り組まなければいけないと考えている。水産業については、サーモン養殖事業の推進とともに、岩盤清掃事業やアカモク藻場造成試験など育てる漁業の推進につなげたい。

答 町長
林業については、災害に強い山づくりに取り組むとともに、森林資源を有効に活用するため、積極的に里山の整備に関わる機運を醸成する活動に力を入れ、林業の振興を図りたい。

観光事業については、白神山と十二湖を中心に、その魅力を地域全体に波及する施策を展開したい。自然を壊す再開発ではなく、今の自然景観を十分に守りつつ取り組んでいく。更に、当町の優れた「自然景観」や「地域食材」を内外に広くPRすることによって誘客促進を図っていく。



▲深浦サーモンを水揚げしている様子



▲活け締め作業の様子



健康寿命の延伸に係る事業については、「健康のまちづくり宣言」の一つである「一年に一度の検診受診」の宣言であり、今後も受診勧奨を行い、異常の早期発見・早期治療により「早世減少」が達成できるよう重点的に取り組んでいく。

また、健康寿命延伸には介護予防と認知症予防が重要なことから、身近な場所が高齢者が定期的に集まり、心身の機能を低下させないために生きがい活動推進事業を継続していく。

※早世=早く世を去ること。早死に。若死に。

町政をたどす

観光スポット大岩エリアについて

問 今議員
大岩への国道横断（交通安全対策）、その後はどうなっているのか。また、遊歩道となる海浜地の漂着物の対応などのように考えているのか伺う。

答 町長
交通事故防止の観点から、町が鯨ヶ沢警察署に横断歩道の設置を要望したところ、ファミリーマート周辺の交通量調査を経て、横断歩道の設置が必要との判断により、設置を来年夏以降すると伺っているが、観光客のためにも1日も早く設置されるように努めていく。

大岩遊歩道の海岸漂着ごみの撤去については、5月から12月までの期間、会計年度任用職員2人で町内全域の海岸を巡回し、漂着物の回収撤去等を行っている。また、大量の漂着ゴミは、業者委託によ



▲大岩周辺に漂着したごみ

り処理している。大岩周辺は、観光スポットとして注目されており、観光客が多いことから、周辺の自然景観に配慮しつつ、海岸漂着ゴミの回収に努めていく。

新型コロナウイルスによる財政悪化の対応策について

問 今議員
地域経済の停滞による税収の落ち込み、地方交付税の減少が予想される中で、財政悪化への対応策をどのように考えているのか伺う。

答 町長
新型コロナウイルスの影響により、地域経済の停滞と税収の落ち込み、そしてその税収を原資として配分される地方交付税の減少が予想される。年末に発表される正式な「令和3年度地方財政計画」の内容をしっかりと分析しながら有効な財政対策を探って、今回の事態で再認識した将来への備えの重要性に鑑み、公共施設の統廃合や経常経費の削減、適正な人事配置、補助金の見直し、民間事業者との連携等を通して、財政健全化への取組を並行していく。



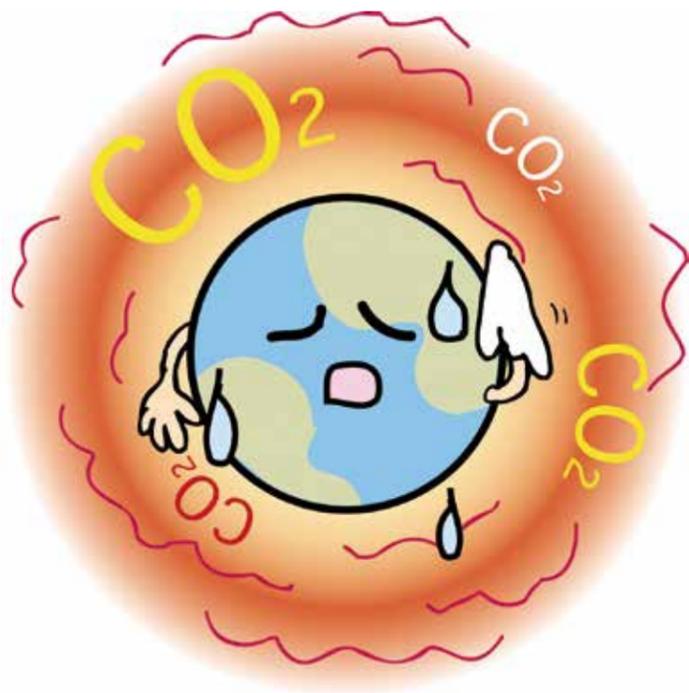
来年度予算の方向性について

問 今議員
令和3年度（2021年度）予算について、コロナ時代を見据え、政策や施策の方向性を追求して予算編成をすべきと思うが、町長の考えを伺う。

答 町長
新型コロナウイルス感染症への対応は、今後も続いていくとの認識の下に、国・県の支援策と協調しながら、必要に応じて町独自の対応策を行うっていく覚悟で財政基盤の安定と持続性を確保しつつ、基本目標の実現のための政策的経費、特に第一次産業の振興や、子育て支援の充実等に資する経費を盛り込んだ予算編成を行っていききたい。

※会計年度任用職員=これまでの臨時職員などのこと。

町政をたず



地球温暖化対策の取組について

問 大高議員

①気候非常事態宣言を表明する考えはないのか。
②自然災害に対処する生活と心構えを植え付ける事業を推進すべきと思うが、町の考えを伺う。
③再生可能エネルギーの活用を周知すべきと思うが、町の考えを伺う。

答 町長

①「地球温暖化による気候非常事態宣言」については、宣言した自治体は約50団体にどまっております。当町においての宣言は今のところ考えてない。
②深浦町には全ての行政区に自主防災組織があり、住民一人一人が「自らの命は自ら守る」、「自らの地域は自ら守る」という考え方で、自主的に防災活動を行う組織となっている。町で

は、平成27年に「自分のいる場所がどの程度の浸水があるのか」を認識してもらうため、ハザードマップを各家庭へ配布し、福祉施設、各事業所等にも備え付けています。自然災害に対処する生活と心構えを植え付けるため、今後とも、各自自主防災組織や消防団等関係機関と連携しながら町の避難訓練等を充実していきたい。
③本年7月には、洋上風力発電事業の促進に向け有望区域として、青森県沖日本海（南側）が有望区域に選定された。今回の有望区域には、深浦町の海域は含まれてないが、「浮体式洋上風力発電」の事業計画を検討している事業者があることから、事業者により環境アセスメントの縦覧やホームページによる周知、実施事業の説明会が開催されることとなっている。今後、事業者による具体的な事業計画がある場合には、当該事業に対する町民の理解や認識が重要と考えられるので、広報紙や町ホームページでの周知に加え、町民や漁業関係者を対象とした説明会や講演会等を開催し、再生可能エネルギーの活用・導入推進に向けて理解を深めていきたい。



町政をたず

COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)の今後の取組について

問 大高議員

県内の市町村が対応している事業で、我が町が、まだ実行していない補助や助成事業を洗い出し、関係事業者や各家庭の事情を吸い上げる体制を構築し、次の事について補助や助成の再検討をすべきと思う。
①PCR検査の補助
②出産祝金を母、子に10万円ずつ交付
③新婚補助金
④米の種子購入代補助等
⑤全町民無料でインフルエンザ予防接種
以上について、町長の考えを伺う。

答 町長

①新型コロナウイルス感染症を診断する検査には、PCR検査と抗原検査がある。また、医師により新型コロナウイルス感染症が疑われ検査が必要と判断された場合、費用の自己負担分は公費となるため実質無料となる。現在、優先すべきは、感染が疑われる方が確実に検査を受けられることですので、自己希望による検査の無料化は考えてない。
②特別定額給付金を受給できない令和2年4月28日以降に生まれた子供に対し、対象児1人につき10万円を新生児臨時特別給付金として給付することを7月の第107回臨時議会において可決していただいた。給付申請期限は令和3年4月30日までとして現在、事業を実施している。
③「新婚補助金」については、国の補助事業である「新生活支援事業」と思われる。現在、実施主体である市町村の実施は、全国で15パーセントにとどまっております。町としては、今後の他市町村の動向や事業効果を見極め検討したい。



④米の種子購入代補助等については、町内の農家では、それぞれ保険制度への加入が進んでいることから、大きな損害が確認されない現段階においては、町独自の稲作農家へのコロナ支援策を、早急に検討する状況にはないものと考えている。
⑤インフルエンザワクチンは、

接種を受ける方が急激に増加すると安定供給が困難になることがあり、ワクチンの供給に限りがある中で、優先すべき接種対象の高齢者にワクチンが行き渡るようにしたいと考え、町としては、現行どおり高齢者等と子供を助成対象として一部自己負担で実施したい。

町政をたず

問 町長

①各保育園では、アレルギー対応メニューを作成しており、入園前に保護者から詳しく聞き取りを行い、アレルギー対応が必要な子供が入園する際は、個別の給食を提供する対応をとっている。また、小学校就学前の子供についても、保護者からその児童のアレルギーの有無を調査し、「有り」となった場合は、医療機関を受診の上、日本学校保健会が作成した「学校生活管理指導表」に、精密なアレルギー検査の検査結果を記入していただいている。



②食物アレルギーの検査について、特定の方が診断を受けて実施するものであり、検査方法や検査項目など多種多様なことから、受診勧奨や検査費用の助成等は行っていない。

子供の食物アレルギー対策について

問 大高議員

①保育園や小学校に進む子供たちのアレルギー対策について伺う。

②血液検査や食物経口負荷試験などアレルギー検査を行っているのか。

答 町長

株式会社ふかうら開発について

問 大高議員

①町から委託された部門は、今後、今までも引き続きと思うが、新しい委託事業を考えているのか。

②しらかみ十二湖株式会社や深浦町食産業振興公社との合併はあり得るのか。

答 町長

①株式会社ふかうら開発が運営する新しい事業は、年明けから実行する予定の岩崎方面の「ミニニティバスと本町の「ゆとり」から診療所までの三幹線については、次年度以降、年間をとおして運行を委託する予定としている。

②株式会社ふかうら開発としらかみ十二湖株式会社の合併や一般財団法人深浦町食産業振興公社を含めた統合再編につきましては検討を重ねてきた。平成25年に「ふかうら開発」と「しらかみ十二湖」の統合について検討した際は、合併によるデメリットを超える強力なメリットがなければならぬという認識の下、検討したが、大きなメリットがあるとは考えられないという結論に至り、両社の統合は見送られた。平成30年度には「ふかうら開発」と「しらかみ十二湖」に「食産業振興公社」を加えた統合再編を検討したが、資金繰りの問題や長期未払金に関する問題、合併による業績向上が見込まれないことなどから、三セク等の統合再編の検討は、一旦立ち止まる必要があるとの結論に至った。第三セクターの再編については、各々の会社において各課題を解決した後

町政をたず

木造高校深浦校舎の来年度募集停止について

問 大高議員

令和2年10月21日の県教育委員会の会議において募集停止が決定したと新聞に掲載されたが、来年度受検する生徒に対してどのような補助や助成を考えているのか、また、その基準をどう設定するのか。

答 町長

木造高校深浦校舎の募集停止が決定したことについては、大変残念に思っている。来年度からは、来年度受検する生徒に対してだけでなく、町内の中学校を卒業後、高校に在学している全高校生を対象に、交通費の支援等について、他市町村の例を参考に、公共交通機関の定期券代の一部を助成する方向で考えている。



▲県立木造高校深浦校舎

成年後見制度の現状と取組について

問 大高議員

①成年後見人の現状について伺う。

②町長が家庭裁判所に申し立てる「町長申立て」による後見人の現状と今後の取組について伺う。

答 町長

①成年後見制度の利用が促進されるよう、制度利用のための申立てを行う親族が身近にいない場合に、町長が代わりに家庭裁判所に申立てを行う町長申立てや、経済的な理由により本人が後見人に対して後見業務の報酬を支払うことができない場合の成年後見制度利用支援助成事業を実施している。

②成年後見制度を利用している方は17人、その内、町長申立てを行った方は約半数の9人で、毎年1人から2人の町長申立てがあるが、今年度は9月末現在で既に3人の町長申立てを行っている。昨年4月から、当町と



鯉ヶ沢町、更に両町の社会福祉協議会の2町2社会福祉協議会が共同により「権利擁護センターあじがさわ」を運営、成年後見制度等についての周知啓発のほか、成年後見制度等に関する相談について、支援方法等の協議を行っている。今後、必要な人に必要な支援が届けられ、地域住民が安心して暮らし続けることのできる「地域共生社会」の構築に向けた取り組みを推進していく。

町政をたずねる

問 町長
夕陽公園で行ったイルミネーションは、実施できなかつた合併記念花火大会の代替イベントとして、光の美しさが町民の「癒やし」と「明日への活力」につながることを願って実施したものです。

答 町長
また、クリスマスまでできないかとのことですが、12月に入ると雨やみぞれ交じりの強風の日が多く、イルミネーションの配線が切れるおそれや、装飾の取り外しが困難になるほか、長期間、潮風に当たることで電球の傷みが早くなること懸念される。これ

問 岩根議員
夕陽公園のイルミネーション、住民のみなさんから評判が良く、たくさんの方が見学に訪れたようです。そこでクリスマスまで出来なかったものか。

らの懸念事項を装飾業者にも相談しながら、住民をはじめ観光客の皆さんに喜んでいただけるよう、次年度以降のイルミネーションについて実行委員会にて検討する。



ふかうらイルミネーション2020の様子



問 町長
来年受験する生徒に対してだけでなく、町内の中学校を卒業後、高校に在学している全高校生を対象に、交通費の支援等について検討している。

答 町長
来年受験する生徒に対してだけでなく、町内の中学校を卒業後、高校に在学している全高校生を対象に、交通費の支援等について検討している。

問 岩根議員
木造高校深浦校舎募集停止について

答 町長
これはぜひ考えていただきたい。

町政をたずねる



岩根 環 議員

問 子供たちの遊び場について

答 全てに応えることは難しいまでも、優先度や緊急度を勘案し、必要な対策を講じたい

問 岩根議員
コロナ禍で思ったような外出ができず、近くで子供たちが遊べる場所がほしいと言う住民の意見がありました。夕陽公園の遊具、アオーネ白神の遊具も一部撤去したようです。

答 町長
船作福祉センター敷地内に遊具が設置された経緯は、船作自治会の総会の議決に基づき、船作財産区が所有する基金を充てて、遊具を設置したものです。町としても、子育て支援の充実が最も重要な政策課題の一つと考え、子ども医療費無償化、学校給食の実現、放課後児童健全育成事業等といった予算を投じてきた。



▲船作自治会が設置した遊具

各年齢層や、各地域における多様な要請の全てに応えることは難しいまでも、優先度や緊急度を勘案し、必要な対策を講じたいと考え、子供たちの遊び場確保・遊具設置についても同様に検討したい。



問 岩根議員
船作地区では福祉センターの敷地に子供用の遊具が設置されています。遊具の設置について、町長の考えを伺いたい。

地区 北金ヶ沢
 職業 漁業
 任期 令和2年11月22日から令和5年4月25日まで

深浦町議会議員補欠選挙の投開票が11月22日に行われ、大川清光氏（56歳）が当選されました。なお、所属常任委員会は産業建設常任委員会に決まりました。



町議会議員補欠選挙
 大川清光氏当選



新人議員を紹介します

豆辞典

補欠選挙とは？



市町村議会議員の補欠選挙は、線上補充により当選人を定めることができる場合を除き、欠員数が公職選挙法110条第1項に規定する当選人の不足数と合わせて当該選挙区における議員の定数（選挙区がないときは議員の定数）の6分の1を超えるときに行われる。なお、議員の欠員が所定の数に達しなくても、当該選挙区（選挙区がないときはその区域）で同一の地方公共団体の他の選挙が行われるときには、この選挙と同時に補欠選挙も行う。ただし、補欠選挙は、その欠員が、当該議員の任期満了前、6か月以内に生じたときはこれを行わない。この場合にも、欠員者が多くなり、在任議員が定数の3分の2に達しなくなつたときはこの限りでない。なお、補欠選挙により議員となつた者の任期は、前任者の残任期間である。

11月16日(月)
 懇談会は、県町村議会連合会石戸会長及び三村県知事の挨拶に続き、各郡町村議会連合会を代表する5人と欠席した中津軽郡議会連合会の要望を副会長である小野議長が代読し、それぞれの地域課題に関して要望事項を述べ、知事の考えを質した。西北津軽郡町議会連合会からは、長利中泊町議会議長が代表し、「次世代を担うスマート農業の普及推進」に関して、スマート農業技術の普及による農業のICT化の推進等について要望し、県側から「スマート農業の推進には、ほ場の大区画化など基盤整備や農地中間管理事業を活用し、農地の集約化に取り組み、地域に適したスマート農業の早期確立、生産現場への普及を図っていく。また、スマート農業に対応できる人材の育成に取り組んでいく。」との回答があった。



知事を囲む行政懇談会

議会活動

町政をただす



ほりうち えいじ
 堀内 榮治 議員

問 国道101号岩崎地区の電柱等移設について

答 1日も早く移設完了に努める



▲移設工事の状況



▲移設後



▲移設前



問 堀内議員
 ①現在の進捗状況は。
 ②移設完了の見通しは。

答 町長
 ①進捗状況については、本年9月に地権者との移設に関する契約を進め、10月末にNTT側との契約が完了した。
 ②移設完了の見通しについては、11月下旬に移設工事を開始し、12月上旬には7本のNTT電柱の移設が完了する。しかしながら、すべてが解決した訳ではなく、いまだ交通に支障となる電柱が数本残っているため、引き続き県と密に連携を図り、一日も早く電柱の移設が完了できるよう努める。

議会運営委員会

12月1日(火)

協議事項

- 1 深浦町議会110回定例会の日程について
- 2 陳情について
- 3 閉会中の継続調査及び審査の申出について

広報編集委員会

12月25日(金)

- ・ 広報第64号の編集について
- 1月27日(水)
- ・ 広報第64号の編集について

総務文教常任委員会

12月4日(金)

所管事務の調査

- 1 財政状況の見通しについて
- 2 閉会中の継続調査の申出について

全員協議会

11月30日(月)

協議事項

- 1 岩崎方面コミュニティバス運行(案)について
- 2 (株)ふかうら開発の現状と今後について
- 3 医師確保の現状について

産業建設常任委員会

12月4日(金)

所管事務の調査

- 1 定住住宅の現状と計画
- 2 閉会中の継続調査の申出について

所管事務の調査

- 1 水産試験事業の追跡調査について
- 2 定住住宅の現状と計画

所管事務の調査

- 12月18日(月)
- 1 水産試験事業の追跡調査について
- 2 定住住宅の現状と計画



▲ 広報編集委員会



▲ 全員協議会

広報編集委員会

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 斉藤 登 | 副委員長 | 亀川 肇 |
| 委員 | 今勝吉 | 委員 | 岩根 環 |
| | 岩谷 司 | | |

(発行者) 議長 小野文之

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号 (代) 74-2111 (内202)
(直) 74-4418